

令和三年 十二月

令和三年は終わりを告げ、私の朝倉での二回目の冬が始まりました。日々の仕事の中で、朝倉に長く住んでいる人や、他市から新しく移住した方と会う機会が増えました。朝倉の印象について話すと、「住みやすい」「有名な観光地はもちろん、日常の風景も楽しい」というのが共通した感想です。

私たちは皆、旅行が好きで、自分のいる場所に飽きると、外の世界が魅力的に見えてきます。だからこそ、時には「よそ者」に地元の良さを教えてもらうことも必要なのです。しかし、パндеミックの中には、地元にいる時間が長くなるので、地元にあるものに感謝し、それを誇りに思う良い機会になります。

私は香港にいた頃、外国人観光客と一緒に現地のツアーに参加し、彼らが香港を訪れたときにどんな体験をしているのかを知りたいと常々思っていました。まだその機会はないのですが、いつか実現できるかもしれません。朝倉は私たち外国人にとってとても良いところなので、皆さんも私たちと一緒に、慣れ親しんだこの場所をもう一度探索し、何か新しいインスピレーションが湧いてくるかもしれません。

